



記者発表資料	
平成29年2月17日(金)	
担当課 (担当者)	観光戦略課 (浅井)
連絡先	20-3227 (内線 2536)

鳥取因幡・北但西部地域の広域観光グランドデザインを策定！

—鳥取因幡・北但西部地域の広域観光の取り組みを進めます—

この度、鳥取因幡・兵庫北但西部地域（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町）が取り組む地方創生事業の一環として、広域観光振興の取組を整合的かつ計画的に進めるため、「広域観光グランドデザイン」を策定します。これに併せて下記のとおり市民政策コメントを実施します。

記

1. 市民政策コメントの実施

(1) 資料公開

本庁舎総合案内、第二庁舎観光戦略課、駅南庁舎総合案内、各総合支所産業建設課、本市公式ホームページ

(2) 期間

平成29年2月17日(金)から平成29年3月8日(水)

(3) 提出方法

様式は問いません。住所、氏名、電話番号を明記のうえ、郵送、ファクシミリ、電子メール、持参のいずれかで鳥取市経済観光部観光戦略課まで

(4) 提出期限

平成29年3月8日(水)

2. 鳥取因幡・北但西部観光グランドデザインの概要

(1) 目的

鳥取因幡・兵庫北但西部地域が取り組む地方創生事業の一環として、古くから歴史や文化、生活圏を共有する鳥取因幡・北但西部圏域の魅力ある観光資源を一つのブランドと捉えた観光振興を行政の枠組みを超えて展開するための基本方針です。

(2) 目指すべき将来像（構想期間：平成29年度～33年度）

圏域の魅力を国内外の人々に認知してもらい、認知度を高めることで観光客など人の交流を増やし、宿泊、交通、飲食をはじめ地域産業を強くすることで人の生活が豊かな地域を目指します。

(3) 「若年層」「訪日外国人」を重点ターゲット

急速に進展する高齢化社会を見据え、将来にわたりリピーターとして期待される「若年層」、さらに引き続き旺盛なインバウンド需要を取り込むため「訪日外国人」を重点ターゲットに位置付ける。

(4) 目標達成のための戦略

- ① 「観光コンテンツ」のブラッシュアップ
例：景観(鳥取砂丘等)の「観る」要素にアクティビティ等の「体験」を加えた複合的なプログラムの検討
若者文化(音楽やアニメ・ファッションなど)を捉えた話題性のあるイベントの検討
- ② 「食」に関するコンテンツ開発
例：郷土料理を手軽に食べることが出来るメニューの検討
来る動機につながる、購買意欲を掻き立てるお土産品の開発
- ③ 回遊性の高い地域交通網の検討
例：主要なゲートウェイから主要観光地への移動手段の検討
観光拠点となるアクセスポイントの設置およびそれらをつなぐ交通網の検討
- ④ 「おもてなし」文化の醸成
例：外国人へのおもてなしを向上させるための翻訳システム導入に向けた市場調査
介助・支援が必要な人も不安な旅行ができる環境整備
- ⑤ ブランディングによる情報発信の推進
例：圏域の統一的なブランドコンセプト、キャッチコピー、デザインの設定
ブランドデザイン等を活用したモバイル・Web コンテンツによる情報発信

(5) 今後の推進体制

グランドデザインの推進母体として、鳥取県東部1市4町の官民18団体で構成する「鳥取・因幡観光ネットワーク協議会」や兵庫県2町と連携し、広域連携DMOの設立を進め、広域周遊観光圏整備に向けた戦略を展開します。

3. グランドデザイン策定までの主な経過

学識経験者および対象地域の自治体が推薦した者15名より構成された「鳥取因幡・北但西部グランドデザイン策定委員会」により、対象地域全体での基本理念、広域観光振興の基本施策の検討及び観光グランドデザインへの反映、観光グランドデザインの推進組織体制などについて協議・検討を行いました。

時 期	内 容
平成28年 3月	平成27年度「鳥取因幡・北但西部観光グランドデザイン策定に係る調査業務」を実施し基礎調査編としてまとめる。
〃 4月	「鳥取因幡観光ネットワーク協議会」として日本版DMOに登録
〃 8月	第1回策定委員会を開催
〃 10月	第2回策定委員会を開催
平成29年 1月	第3回策定委員会を開催
平成29年 3月	第4回策定委員会で最終策定